

# 屋内配線、充電コントロールボックス設置

H24, 1, 7 ケーブル施工  
3, 18 屋内施工



建築中にソーラーパネルからのケーブルを外壁上部から壁の中に配線し、コントロールボックスを設置する外壁下部へ出しておく。  
ソーラー電力専用の1F、2Fの照明やコンセントは通常のVVVF1.6mmケーブルを電気屋さんが配線し、分電盤を通さず、まとめて外壁下部に出してもらう。

外壁上部に出した屋内配線からのソーラーケーブルはアウトレットボックス内でパネルから来たケーブルと接続する。  
夏場、屋根の温度は80度を超えるため、耐候性を考えPF管にいれ、軒を回して浸水のトラブルも回避。



コントロールボックスを壁に設置し、壁から出たVVVFケーブルを繋いでいく。  
各配線が室内のどの部分に繋がっているのか、通電チェックしながら確認をする。



リビング天井  
直流12VのLEDランプ  
日常使いこそ自然エネルギー



発電状況、通電状況の確認をして一旦終了。  
内装が終わったら、後日あらためて機器を設置し  
最終チェックを行う。



### 機器の設置

ここは2Fのパソコンコーナー  
12Vの配線をデスクランプ用の  
コンセントとパソコン用コンバーター  
に分岐して取り付ける。



これは東電の100V!

コンバーターは12Vの直流を15~24V  
に変換するもの、シガーライターアダプターで  
接続するため、  
シガーソケットをテーブル下に取り付ける。





12VのLED電球をつけたデスクランプも点灯でき、パソコンの充電も確認できたので問題なし！  
※充電中 の表示。

そもそも電化製品は直流で動いている、交流100Vから無駄な変換をしているのが現状…コンバーターを使えば直流でパソコンが動く（ACアダプターは無し!）



#### 1Fのテレビ用コンセント

直流12Vをインバーターで交流100Vに変換しコンセントに流している、右の青いスイッチは室内でインバーターのON・OFFが出来るようにするためのもの、インバーター自体が電気を使うので、必要が無い時は室内から止めることができる、苦心の作。  
200Wも消費する大型テレビも無事に映った。



最後の仕上げはコントロールボックスのコーキング  
電子機器なので、湿気や水漏れは要注意!

